

Program

ストラヴィンスキー：イタリア組曲

フォーレ：ヴァイオリンとピアノのための
ソナタ第1番 イ長調 作品13

ガーシュウィン（ハイフェッツ編曲）：
ポーギーとベス組曲

クライスラー：
コレッリの主題による変奏曲
ルイ13世の歌とパヴァーヌ
ジプシーの女

サラサーテ：カルメン幻想曲

鷺見恵理子

ヴァイオリン・リサイタル

Eriko Sumi

Violin Recital

2026.5.22(金) 19:00開演
(18:30開場)

王子ホール

全席指定 ¥6,000 学生 (U24) ¥2,500 (税込)

※未就学児の入場はお断りしております。※学生券を購入の方は入場時に学生証をご提示ください。

[チケット取扱い]

オフィス諷雅 ※オフィス諷雅メール会員は先行販売あり

<https://www.officefuga.jp> 03-5778-5288 (平日9:30～17:30のみ)

◎チケットぴあ <https://t.pia.jp> ◎イープラス <https://eplus.jp>

◎王子ホール チケットセンター 03-3567-9990 (平日10:00～18:00)

主催・お問い合わせ：オフィス諷雅 support@officefuga.jp

後援：桐朋学園子供のための音楽教室目黒教室／マエストロラ音楽院／鷺見恵理子ファンクラブ

一般発売
2026.
1/24(土)



〈共演〉
松本和将(ピアノ)

パガニーニの「カプリス」全曲で満場を魅せた鷺見恵理子が王子ホールに帰って来る。ソロもアンサンブルも素晴らしいピアニスト松本和将に導かれ、十八番を弾く。

彼女のアメリカ、ヨーロッパでの学び、歩みを映し出す美しくも烈しい選曲をみよ。イタリア古典劇を受け継ぐストラヴィンスキー。鷺見がかねてから想いを寄せている、かぐわしいフォーレ。オペラの名場面が浮かんでくるかのようなガーシュウィン。CDでも賞賛を博したクライスラー。そしてプログラムを締めくくるのは妖艶な「カルメン」だ。声高に申すまでもなく、情熱、奔放、悲劇もキーワードとなる。

ここへきて大人のヴァイオリンを披露、新たなファンとの交歓も始まった鷺見恵理子のすべてを、と開演前から熱く語っても許されるのではないか。組曲、ソナタ、小品を、ただ鮮やかに手際よく弾くのではなく、楽の音に寄り添う物語や景色、歴史をひもとく——鷺見恵理子のステージは、コンチェルトであれサロンであれ、いつも曲と聴き手への愛に満ちている。ゆえに一度味わった人は、また客席の人となる。あの音、語り口にいだかれたいくなる。

開演が近づいてきた。

———奥田佳道(音楽評論家)



鷺見恵理子(ヴァイオリン)

「日本ヴァイオリン界の父」鷺見三郎を祖父に持ち、両親もヴァイオリニストという名門一家に生まれ育つ。5歳でルクセンブルク現大公御夫妻の御前で演奏。佳子内親王のペルー公式訪問前レセプションにて演奏。ジュリアード音楽院卒業。D.ディレイに師事。ミケランジェロ・アバド国際コンクールで優勝。同コンクール審査員。ミラノ・トレッタ賞受賞。リッカルド・ムーティ音楽監督イタリア・ディノ・チャニーニ音楽祭に出演。パガニーニのカプリス全24曲演奏会をミラノの王宮、国内11都市及び台湾で行い絶賛された。東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ポーランド国立

管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ほかウィーンカメラータシュルツ、サンレモ・シンフォニー・オーケストラ、オーケストラ・フィールハーモニー・デル・ヴェネト、オーケストラ・アカデミア・デレ・オペレとパガニーニの協奏曲をミラノG.ヴェルディ音楽院大ホールにて演奏し演奏しニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの国内ツアーに抜擢される等国内外の主要オーケストラ、ギトリス、ラカトシュなど世界的アーティスト達と共演。カーネギーホール、デイヴィッド・ゲフィン・ホール、サントリーホール、東京オペラシティ・タケミツメモリアルホール他で演奏。ブルガリア人民文化宮殿でのコンサートの模様が国営放送にて中継。ハンガリー国会議事堂では日本人初の演奏。CD「ノスタルジア」「パガニーニ24のカプリス作品1」を発売。各々レコード芸術誌の特選盤に選ばれ、奥田佳道氏の推薦によりNHKラジオ「クラシックの遺伝子」「音楽の泉」にて紹介される。TV朝日「激レアさんを連れてきた」「プラチナ・ファミリー」日本テレビ「しゃべくり007」「恋するクラシック」、サラサーテ誌の表紙を飾るなど各国のメディアに多数出演。鳥取ふるさと大使就任。桐朋学園子供のための音楽教室、マエストロラ音楽院講師。近年発売されたCDに華道家の假屋崎省吾氏、世界的指揮者の広上淳一氏からの称賛のメッセージを賜る



松本和将(ピアノ)

ホロヴィッツ国際ピアノコンクール第3位、日本音楽コンクール優勝、ブゾーニ国際ピアノコンクール第4位、エリーザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。

ソロリサイタルから協奏曲、室内楽、他ジャンルとの共演まであらゆるジャンルを網羅する。これまでに2枚のレコード芸術特選盤を含む25枚のCDをリリース。

岡山県芸術特別顕賞、倉敷市芸術文化栄誉章、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギー音楽賞受賞。